

## 大学として求める教員像（大谷大学大学院）

大谷大学大学院は、建学の理念や使命・目的を実現するために「求める教員像」を以下のとおり定める。

- ① 仏教の精神および建学の理念を理解し、教育・研究活動に取り組める者
- ② 担当分野において、研究業績に裏付けられた高度な教育研究上の指導力を有する者
- ③ 教育においては、学生一人ひとりの関心と能力に応じた指導を心がけ、強い責任感をもって、本研究科の教育目標を実現しようとする者
- ④ 教育・研究・大学運営等の活動において、積極的に学生と関わり、職員と協働できる者
- ⑤ 研究においては、人間の普遍的かつ現代的な課題を視野に、専門分野等の進展に寄与する成果発表等の活動を継続的に行える者
- ⑥ 地域連携・社会貢献においては、研究成果を広く社会に還元し、研究者としての社会的責務を果たすことができる者
- ⑦ 自らの資質向上に取り組み、大学運営に主体的且つ協力的な行動ができる者

## 教員組織の編制に関する方針（大谷大学大学院）

本研究科の教育目標を実現するために、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）等の各種方針に沿って、大谷大学大学院担当教育職員審査基準に適う教員を、文部科学省の設置基準に準拠して配置する。また、教育研究の活性化と水準の向上の観点から、教員構成の多様性を確保すべく、国際的な広がり、性別および年齢構成にも配慮する。これらの方針に沿って、本研究科の教育・研究の実践にふさわしい教員組織を編制する。

- ① 博士後期課程においては、専攻分野について従来の学術水準に新しい知見を加え、文化の進展に寄与するとともに、研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度で精深な研究能力とその基礎となる幅広い豊かな学識を涵養することができる教員組織を編制する。  
また大学・研究科・専攻のそれぞれの組織において、教員間で連携とり、教育課程や大学運営等において適切に教員の役割を分担し、教育上主要と認められる科目については、専任教員が担当するように配置する。
- ② 修士課程においては、学部における一般的並びに専門的教養の基礎の上に更に広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度な能力を涵養することができる教員組織を編制する。  
また大学・研究科・専攻のそれぞれの組織において、教員間で連携とり、教育課程や大学運営等において適切に教員の役割を分担し、教育上主要と認められる科目については、専任教員が担当するように配置する。